

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業(都市園芸科)			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		課題研究			3	105時間		
対象学年組 第3学年 1組								
使用教科書								
科目:「課題研究」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けている。			調査・研究・実験、作品製作、フラワー装飾3級取得を通して、課題を発見し、活動の過程や成果を自ら分析し、まとめ、発表などに基づいて問題解決の能力、自発的、創造的に解決する力を養っている。			調査・研究・実験、作品製作、フラワー装飾3級取得を通して、創意工夫する面白さと学習の喜びを体験し、課題研究のまとめや発表に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。
評価方法		定期テスト ノート、レポート 観察(研究状況) 研究報告書			定期テスト ノート、レポート 観察(研究状況、討論・発表) 学習の振り返り 作品			観察(研究状況、討論・発表、行動観察) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	40	中間・ 期末	<p>【単元名】調査・研究・実験、作品製作、フラワー装飾3級取得</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら設定した課題について、主体的な学習活動を通して、課題解決方法について理解する。</li> <li>・作品製作について、自ら製作課題の構想から製作の活動を通して、課題解決方法を理解する。</li> <li>・フラワー装飾3級を取得するため、フラワー装飾の知識と技術を理解する。</li> <li>・研究の取組内容や結果をまとめ、の課題研究の成果について、まとめ方や発表方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・実験</li> <li>・ノート、レポート</li> <li>・中間報告書</li> <li>・中間発表</li> </ul>			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら設定した課題について、主体的な学習活動を通して、課題解決方法について理解している。</li> <li>・作品製作について、自ら製作課題の構想から製作の活動を通して、課題解決方法を理解している。</li> <li>・フラワー装飾3級を取得するため、フラワー装飾の知識と技術を理解している。</li> <li>・研究の内容や結果をまとめ、結果の分析や報告書の作成方法、発表方法を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・実験、作品製作、フラワー装飾3級取得において、課題を発見し、調査・研究、報告書作成、発表を通して解決しようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・実験、作品製作、フラワー装飾3級取得、発表において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</li> </ul>
2	単元3	45	中間・ 期末	<p>【単元名】調査・研究・実験、作品製作、フラワー装飾3級取得</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら設定した課題について、主体的な学習活動を通して、課題解決方法について理解する。</li> <li>・作品製作について、自ら製作課題の構想から製作の活動を通して、課題解決方法を理解する。</li> <li>・作品製作と発表、鑑賞を通して、製作方法を理解するとともに、思考力や表現力の育成する。</li> <li>・研究の取組内容や結果をまとめ、の課題研究の成果について、まとめ方や発表方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・実験</li> <li>・ノート、レポート</li> <li>・報告書</li> <li>・発表プレゼン</li> <li>・定期テスト</li> </ul>			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら設定した課題について、主体的な学習活動を通して、課題解決方法について理解している。</li> <li>・作品製作について、自ら製作課題の構想から製作の活動を通して、課題解決方法を理解している。</li> <li>・フラワー装飾の作品製作と発表、鑑賞を通して、製作方法を理解している。</li> <li>・研究の内容や結果をまとめ、結果の分析や報告書の作成方法、発表方法を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・実験、作品製作において、課題を発見し、調査・研究、報告書作成、発表を通して解決しようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・実験、作品製作、発表において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</li> </ul>

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
3	単元 6	20		<p>【単元名】調査・研究・実験、作品製作、フラワー装飾3級取得における研究発表</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の取組内容や結果をまとめ、課題研究の成果について、まとめ方や発表方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・実験</li> <li>・ノート、レポート</li> <li>・報告書</li> <li>・発表プレゼン</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>					<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究結果をまとめや発表する方法を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</li> </ul>

## 令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業(都市園芸科)			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		総合実習			3	105時間		
対象学年組 第3学年 1組								
使用教科書								
科目:「総合実習」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		野菜、果樹、草花の栽培に関する専門的な知識を理解しているとともに、総合的な技術を身につけることができる。			野菜、果樹、草花の専門的な知識と技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて総合的に解決することができる。			野菜、草花、果樹に関する専門的な知識と技術について自ら学び、主体的かつ協働的に課題を解決しようとする。
評価方法		定期テスト(実物鑑定) レポート 観察(実習での技術)			定期テスト(実物鑑定) レポート 観察(学習状況) 学習の振り返り			観察(学習状況、行動観察、授業中の発言) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	29	中間・期末	<b>【単元名】</b> 野菜、果樹、草花の栽培 <b>【目標】</b> ・夏野菜のたねまきや定植後の栽培管理について理解する。 ・果樹の基礎的な栽培管理(人工授粉、摘果、摘房、袋掛け、芽かきなど)を理解する。 ・花壇苗の栽培管理や花壇の植栽、管理、観葉植物の大鉢の鉢替えについて理解する。	・講義 ・実習 ・レポート ・定期テスト(実物鑑定) ・振り返りシート			<b>【知識・技能】</b> ・実習レポートの記入方法を理解している。 ・野菜圃場の栽培作目、夏野菜のたねまきを理解している。 ・夏野菜の定植後の管理について理解している。 ・果樹園の管理について理解している。 ・花壇苗の栽培管理や花壇の植栽、管理について理解している。 ・観葉植物の大鉢の鉢替え方法と管理を理解している。 ・園芸植物や農機具、資材などについて理解している。(実物鑑定) <b>【思考・判断・表現】</b> ・野菜、果樹、草花の実習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・野菜、果樹、草花の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元2	24	中間	<b>【単元名】</b> 野菜、果樹、草花の栽培 <b>【目標】</b> ・夏季の農場管理方法について、総合的に理解する。 ・夏野菜の収穫、片付け、秋野菜の準備の方法について理解する。 ・果樹の収穫や調製、栽培管理の方法について理解する。 ・花壇苗と花木、観葉植物の栽培管理の方法について理解する。 ・神代農場の里山管理について理解する。	・講義 ・実習 ・レポート			<b>【知識・技能】</b> ・夏季の農場管理方法について、総合的に理解している。 ・夏野菜の収穫、片付け、秋野菜の準備の方法について理解している。 ・果樹の栽培管理の方法について理解している。 ・花壇苗と花木、観葉植物の栽培管理について理解している。 ・神代農場の里山管理について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・野菜、果樹、草花の実習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・野菜、果樹、草花の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 3	30	中間・ 期末	<p>【単元名】 野菜、果樹、草花の栽培</p> <p>【目標】 ・秋野菜のたねまき、間引き、追肥、収穫などの栽培管理方法について理解する。 ・果樹の収穫と収穫後の深耕、元肥などの栽培管理方法について理解する。 ・花壇苗と観葉植物の栽培管理について理解する。 ・園芸植物や農機具、資材などについて理解する。 ・神代農場の里山管理について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実習</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト(実物鑑定)</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>					<p>【知識・技能】 ・秋野菜のたねまき、間引き、追肥、収穫などの栽培管理方法について理解している。 ・果樹の収穫と収穫後の深耕、元肥などの栽培管理方法について理解している。 ・花壇苗と観葉植物の栽培管理について理解している。 ・園芸植物や農機具、資材などについて理解している。(実物鑑定) ・神代農場の里山管理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・野菜、果樹、草花の実習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・野菜、果樹、草花の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</p>
3	単元 4	22	中間・ 期末	<p>【単元名】 野菜、果樹、草花の栽培</p> <p>【目標】 ・秋野菜片付け後の元肥などの夏野菜の圃場準備について理解する。 ・果樹の剪定などの栽培管理について理解する。 ・花壇苗と観葉植物の栽培管理について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実習</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト(実物鑑定)</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>					<p>【知識・技能】 ・秋野菜片付け後の元肥などの夏野菜の圃場準備について理解している。 ・果樹の剪定などの栽培管理について理解している。 ・花壇の管理や観葉植物鉢の栽培管理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・野菜、果樹、草花の実習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・野菜、果樹、草花の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</p>

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業(都市園芸科)			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		農業経営			2	70時間		
対象学年組 第3学年 1組								
使用教科書 農業経営(実教出版)								
科目:「農業経営」の目標, 評価方法								
目標		【知識及び技能】 農業経営の設計と管理の学習を通して、農業の動向や農業経営の役割、会計管理や情報管理などの農業経営の設計と管理に必要な知識・技術について、体系的・系統的に理解身に付けている。		【思考力、判断力、表現力等】 農業経営の設計と管理に関する課題を発見し、学校農場や地域の農業経営などの身近な事例学習を通して、農業経営の課題について科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養っている。		【学びに向かう力、人間性等】 農業経営の設計と管理の学習を通して、校内農場の農産物の商品化を図るとともに、農業経営の課題の探求に主体的に取組み、経営の改善に関する課題を解決しようとするに主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。		
評価方法		定期テスト ノート、レポート 観察(学習状況、討論・発表) 学習の振り返り		定期テスト ノート、レポート 観察(学習状況、討論・発表) 学習の振り返り		観察(学習状況、討論・発表、行動観察) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り		
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)		
1	単元 1	26	中間・ 期末	<p>【単元名】 農業の動向と農業経営</p> <p>【目標】 ・日本と世界の農業の動向や日本の農業の特質と役割、地域農業の動向について理解する。 ・家族経営と企業経営との違いをについて理解する。 ・農業経営の特徴を知り、企業経営との違いを理解する。 ・6次産業化や知的財産権を活用した農業経営について理解する。</p> <p>【単元名】 農業のマーケティング</p> <p>【目標】 ・環境と経営とを結ぶものを理解させる。 ・農業経営に必要な情報にはどのようなものがあるかを知り、その情報の集め方・活用方法を理解させる。 ・農産物流通の変化について理解させ、改善の方向や、マーケティングの重要性が高まる社会環境の変化について理解させる。 ・農業経営には、市場以外にも、地域や農協、さらには農政などの制度といった社会環境が影響する。これらにどう対応するかは農業経営の大きな課題であることを理解させる。</p>	<p>・講義 ・考査 ・ノート、レポート ・発表</p>	<p>【知識・技術】 ・日本と世界の農業の動向や日本の農業の特質と役割、地域農業の動向について理解している。 ・家族経営と企業経営との違いをについて理解している。 ・農業経営の特徴を知り、企業経営との違いを理解している。 ・6次産業化や知的財産権を活用した農業経営について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・日本の農業の動向や農業経営の形態、農業経営の動向において、課題を発見し、解決しようとしている。 ・各種の農業経営情報を収集し、それをどのように経営改善のために活用するかについて思考し、情報活用のしかたを適切に判断し、よく現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の農業の動向や農業経営の形態、農業経営の動向において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。 ・農業経営情報の収集と活用について、興味・関心をもって意欲的に探究しようとしている。 ・農業経営とマーケティングとの関連について、探究を深めている。</p> <p>【知識・技術】 ・農業経営に関する、さまざまな資料や情報を収集して、適切に選択して活用している。 ・農業経営におけるマーケティングの基礎的な技術をもとに、実際にリサーチして経営を改善に供するよう、適切に選択して表現している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・各種の農業経営情報を収集し、それをどのように経営改善のために活用するかについて思考し、情報活用のしかたを適切に判断し、よく現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・農業経営情報の収集と活用について、興味・関心をもって意欲的に探究しようとしている。 ・農業経営とマーケティングとの関連について、探究を深めている。</p>		

学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元3	31	中間・期末	<p>【単元名】消費者ニーズに沿った農業、食料の需給と貿易</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業や農産物が、食料消費とどのように関係するか理解する。</li> <li>・食生活の変化や食に対する消費者の意識を理解する。</li> <li>・需要と供給による価格形成について理解する。</li> <li>・日本も含めた世界における食料の供給について理解する。</li> <li>・世界の食文化と食品について理解する。</li> </ul> <p>【単元名】農業のマーケティング</p> <p>【単元名】農業経営のマーケティング活動</p> <p>農業経営・マーケティングの実践</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営診断の目的と手段についての基礎を理解させる。</li> <li>・農業経営における診断指標が、何を診断するための基準として用いられているかを理解する。</li> <li>・地域で農業経営改善に取り組む活動への参画を通して、または生徒自らの事業企画を通して、農業経営プロジェクトを実践させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・考査</li> <li>・ノート、レポート</li> <li>・発表</li> </ul>	<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業や農産物が、食料消費とどのように関係するか理解している。</li> <li>・食生活の変化や食に対する消費者の意識を理解している。</li> <li>・需要と供給による価格形成について理解している。</li> <li>・日本も含めた世界における食料の供給について理解している。</li> <li>・世界の食文化と食品について理解している。</li> </ul> <p>農業経営の設計に関する資料や情報を収集・処理してマーケティングやGAPを取り入れ、適切に活用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト活動で、農業経営の設計と管理に関する知識を活用して、コスト管理やマーケティングの必要性を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズに沿った農業、食料の需給と貿易について、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。</li> <li>・農業経営の診断の進め方と手法、および分析について思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズに沿った農業、食料の需給と貿易について、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</li> <li>・農業経営の設計に関する手法とその内容について興味と関心をもち、意欲的に探究しようとしている。</li> </ul> <p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト活動で、農業経営の設計と管理に関する知識を活用して、コスト管理やマーケティングの必要性を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営の診断の進め方と手法、および分析について思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営の設計に関する手法とその内容について興味と関心をもち、意欲的に探究しようとしている。</li> </ul>
3	単元6	13		<p>【単元名】農業マネジメントの考え方</p> <p>生産のマネジメント</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営をとりまく環境に、どう対応するべきかを知る。</li> <li>・経営環境にあわせて、目標を実現できる経営戦略を考える。</li> <li>・適切な作目選択と利益が最大化する原理を知る。</li> <li>・農業経営がなぜ多角化するのかを理解する。</li> </ul> <p>【単元名】農業経営・マーケティングの実践</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で農業経営改善に取り組む活動への参画を通して、または生徒自らの事業企画を通して、農業経営プロジェクトを実践させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・考査</li> <li>・ノート、レポート</li> <li>・発表</li> </ul>	<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営をとりまく環境に、どう対応するべきかを理解している。</li> <li>・経営環境にあわせて、目標を実現できる経営戦略を考えて理解している。</li> <li>・適切な作目選択と利益が最大化する原理を理解している。</li> <li>・農業経営がなぜ多角化するのかを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業マネジメントの考え方、生産のマネジメントにおいて、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業マネジメントの考え方、生産のマネジメントについて、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</li> <li>・プロジェクトの実践を通し、農業経営に関する諸課題に関心をもち、農業経営の設計と管理に意欲的、主体的に取り組む、経営管理の改善について探究しようとしている。</li> </ul> <p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクト活動により、経営の改善に必要な農業会計や情報管理、経営診断と設計などに関する技術を活用し、経営改善を適切に行い、農業経営の改善に関する技術を適切に活用している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクト活動の実践を通し、課題の解決を目指して思考を深め、農業経営の設計と経営管理を的確に判断し、マネジメント能力をもって経営管理の改善ができるよう、適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクトの実践を通し、農業経営に関する諸課題に関心をもち、農業経営の設計と管理に意欲的、主体的に取り組む、経営管理の改善について探究しようとしている。</li> </ul>

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業(都市園芸科)			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		農業機械			2	70時間		
対象学年組 第3学年 1組 2組 3組								
使用教科書 農業機械(実教出版)								
科目:「農業機械」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		農業機械の操作や整備を通して、農業機械の取扱いと維持管理の知識と技術、農業機械の効率的な利用に関する知識と技術を、体系的・系統的に理解身に付けている。			農業機械の作業上の特性と安全性に関する課題を発見し、農業への実践事例や農業機械の効率的な利用などを踏まえ、環境への配慮など科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養っている。			農業機械の利用や整備の学習を通して、農業機械の効率的な利用を図るとともに、安全で操作による農産物の生産を目指し、農業機械を活用した農業に主体的かつ協動的に取り組む態度を養っている。
評価方法		小テスト レポート 実技テスト			小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況) 学習の振り返り			ワークシート 観察(学習状況、行動観察、授業中の発言) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	10	中間	【単元名】 ・農業機械と安全作業 ・草刈用の作業機利用 ・トラクタとその操作 【目標】 ・農業機械の操作を行う前に、農業機械を利用した作業における安全確保を理解する。 ・草刈用作業機械の種類とその操作、構造、点検について理解する。 ・トラクタの種類と安全な運転操作、構造、点検について理解する。	・講義 ・実習 ・レポート ・小テスト ・実技テスト			【知識・技術】 ・農業機械の操作を行う前に、農業機械を利用した作業における安全確保を理解している。 ・草刈用作業機械の種類とその操作、構造、点検について理解している。 ・トラクタの種類と安全な運転操作、構造、点検について理解している。 ・安全に作業を行う態度を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・農業機械の操作と安全作業において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・農業機械の操作と安全作業において、主体的かつ協動的に課題を解決しようとしている。
1	単元2	12	期末	【単元名】 ・エンジンの種類と特徴 ・草刈用の作業機利用 ・樹木管理作業の作業機 【目標】 ・エンジンの種類と特徴、構造について理解する。 ・草刈用作業機械の種類とその操作、構造、点検について理解する。 ・樹木管理用作業機械の種類と安全な運転操作、構造、点検について理解する。植物組織培養の実際	・講義 ・実習 ・レポート ・小テスト ・実技テスト			【知識・技術】 ・エンジンの種類と特徴、構造について理解している。 ・草刈用作業機械の種類とその操作、構造、点検について理解している。 ・樹木管理用作業機械の種類と安全な運転操作、構造、点検について理解している。 ・安全に作業を行う態度を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・農業機械の操作と安全作業において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・農業機械の操作と安全作業において、主体的かつ協動的に課題を解決しようとしている。
2	単元3	12	中間	【単元名】 ・燃料と潤滑油の特質 ・小型建設機械の利用 ・畑作用業機械の利用 【目標】 ・燃料と潤滑油の特質について理解する。 ・小型建設機械の種類とその操作、構造、点検について理解する。 ・畑作用業機械の種類と安全な運転操作、構造、点検について理解する。	・講義 ・実習 ・レポート ・小テスト ・実技テスト			【知識・技術】 ・燃料と潤滑油の特質について理解している。 ・小型建設機械の種類とその操作、構造、点検について理解している。 ・畑作用業機械の種類と安全な運転操作、構造、点検について理解している。 ・安全に作業を行う態度を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・農業機械の操作と安全作業において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・農業機械の操作と安全作業において、主体的かつ協動的に課題を解決しようとしている。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 4	16	期末	<p>【単元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型建設機械の利用</li> <li>・農薬散布用作業機械の利用</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型建設機械の種類とその操作、構造、点検について理解する。</li> <li>・農薬散布用作業機械の種類と安全な運転操作、構造、点検について理解する。植物組織培養の実際</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実習</li> <li>・レポート</li> <li>・小テスト</li> <li>・実技テスト</li> </ul>					<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型建設機械の種類とその操作、構造、点検について理解している。</li> <li>・農薬散布用作業機械の種類と安全な運転操作、構造、点検について理解している。</li> <li>・安全に作業を行う態度を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の操作と安全作業において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の操作と安全作業において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</li> </ul>
3	単元 5	20	学年末	<p>【単元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークリフトの利用</li> <li>・機械のメンテナンス</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークリフトとその操作、構造、点検について理解する。</li> <li>・農業機械のメンテナンスについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実習</li> <li>・レポート</li> <li>・小テスト</li> <li>・実技テスト</li> </ul>					<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークリフトとその操作、構造、点検について理解している。</li> <li>・農業機械のメンテナンスについて理解している。</li> <li>・安全に作業を行う態度を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の操作と安全作業において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の操作と安全作業において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</li> </ul>

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)				
科目		野菜応用		3	105時間				
対象学年組		第3学年	1組						
使用教科書									
科目:「野菜応用」の目標, 評価方法									
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
目標		野菜の育苗の意義を理解する。実施することができる。 野菜の種類や生産形態と野菜の生産上の特性や利用について理解する。 野菜生産が担う社会的な役割、最近の野菜生産を取り巻く諸問題について理解する。		各生育段階における特性と生育の診断ができる。 栽培する野菜の特性や地域の状況に応じた種子や育苗ができる。栽培過程の体験を蓄積することができる。 課題研究総合実習の学習や生活に生かすことができる。		種子の選別や育苗、栽培方法を、病害虫の防除について尊重しようとする。 野菜の栽培、経営について協働的に課題を解決しようとする。 野菜の栽培をとおして地域社会や貢献しようとする。			
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り			
学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	知	思	態	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	13	中間	<b>【単元名】</b> 野菜の育苗 育苗の目的と方法 メロンの栽培  <b>【目標】</b> メロンの栽培を通して、生育状況、栽培環境について理解する。 作業の適期や方法を考える。 それを実践しようとしている。	・講義 ・メロンの定植 ・誘引、芽かき、肥培管理、収穫 ・教科書 ・ノート ・振り返り 等	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> よい苗の条件について理解している。 苗の状態を理解して定植を実施している。 苗の生育状況に応じた栽培管理、適期の栽培方法について気づいている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 栽培過程に応じた、適期に応じた作業工程を立案している。 生育段階に応じて、分析している。 生育状況に応じた栽培管理を行い、生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自らの課題を理解し、協働的に課題を解決しようとしている。 栽培を通して、先を見通し、自ら学習しようとする態度。
1	単元2	16	期末	<b>【単元名】</b> 果菜類 ナス <b>【目標】</b> 夏野菜(果菜類)の栽培を通して、生育状況、栽培環境について理解する。 作業の適期や方法を考える。 それを実践しようとしている。	・講義 ・果菜類の定植 ・誘引、整枝 ・肥培管理、収穫 ・教科書 ・ノート ・振り返り 等	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> よい苗の条件について理解している。 苗の状態を理解して定植を実施している。 苗の生育状況に応じた栽培管理、適期の栽培方法について気づいている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 栽培過程に応じた、適期に応じた作業工程を立案している。 生育段階に応じて、分析している。 生育状況に応じた栽培管理を行い、生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自らの課題を理解し、協働的に課題を解決しようとしている。 栽培を通して、先を見通し、自ら学習しようとする態度。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	知 思 態			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 3	19	中間	<p>【単元名】 秋冬野菜(葉菜類根菜類)の栽培 タイコン・ニンジン</p> <p>【目標】 秋冬野菜の栽培を通して、生育状況、栽培環境について理解する。 作業の適期や方法を考える。それを実践しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病害虫の防除</li> <li>・栽培管理、収穫</li> <li>・教科書</li> <li>・ノート</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 苗の生育状況に応じた栽培管理、適期の栽培方法について気づいている。</p> <p>【思考・判断・表現】 栽培過程に応じた、適期に応じた作業工程を立案している。 生育段階に応じて、分析している。 生育状況に応じた栽培管理を行い、生活に生かしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自らの課題を理解し、協働的に課題を解決しようとしている。 栽培を通して、先を見通し、自ら学習しようとする態度。</p>
2	単元 4	19	期末	<p>【単元名】 秋冬野菜(葉菜類根菜類)の栽培 ハクサイ</p> <p>【目標】 秋冬野菜の栽培を通して、生育状況、栽培環境について理解する。 作業の適期や方法を考える。それを実践しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・病害虫の防除</li> <li>・栽培管理、収穫</li> <li>・教科書</li> <li>・ノート</li> <li>・振り返り 等</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 苗の生育状況に応じた栽培管理、適期の栽培方法について気づいている。</p> <p>【思考・判断・表現】 栽培過程に応じた、適期に応じた作業工程を立案している。 生育段階に応じて、分析している。 生育状況に応じた栽培管理を行い、生活に生かしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自らの課題を理解し、協働的に課題を解決しようとしている。 栽培を通して、先を見通し、自ら学習しようとする態度。</p>
3	単元 5	7	学年末	<p>【単元名】 育苗技術の実際と応用</p> <p>【目標】 ハウス・温室等の施設、設備と被覆資材並びに環境制御技術、情報通信技術(ICT)や人工知能(AI)などの先端技術を活用について理解し、実践しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・夏野菜の種まき</li> <li>・教科書</li> <li>・ノート</li> <li>・振り返り 等</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識・技能】 よい種子の条件について理解している。 種子の発芽の状態を理解してにあった栽培管理を理解している。 苗の生育状況に応じた栽培管理、適期の栽培方法について気づいている。</p> <p>【思考・判断・表現】 栽培過程に応じた、適期に応じた作業工程を立案している。 生育段階に応じて、分析している。 生育状況に応じた栽培管理を行い、生活に生かしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自らの課題を理解し、協働的に課題を解決しようとしている。 栽培を通して、先を見通し、自ら学習しようとする態度。</p>

## 令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業(都市園芸科)		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		果樹応用		3	105時間	
対象学年組 第3学年 1組 選択						
使用教科書 果樹(実教出版)						
科目:「果樹応用」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		果樹に応じた栽培特性を理解し、管理を実践することができる。 果樹の種類(品種)・生育特性・栽培環境を理解する。		栽培管理方法を計画立案し、環境に応じた栽培管理方法を選択することができる。販売品作成において商品を意識した袋詰めができる。		栽培管理方法を自ら学び、模索しながら課題を解決しようとする。 必要な情報収集と分析について主体的且つ協働的に取り組み解決を図る。
評価方法		定期テスト ノート記述(実習記録、座学) 実習技術(行動観察)		定期テスト(論述問題など) ノート記述(発見、感想、反省) 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り		ノート記述(調べ学習、取り組み状況) 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	3	中間	【単元名】第10章その他の果樹 ビワ 品種と特性 栽培管理 摘蕾、摘果、袋掛け、収穫 【目標】 品種と特性について理解する。 摘蕾、摘果、袋掛けの目的と方法について理解する。 管理作業の必要性を考える。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り	【知識・技能】 ・田中、茂木の品種の特性について理解している。 ・摘蕾、摘果、袋掛けの目的と方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・実習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元2	3	中間	【単元名】第10章その他の果樹 キウイフルーツ 栽培管理 摘蕾、摘果、新梢管理 【目標】 新梢管理について理解する。 摘蕾、摘果の目的と方法について理解する。 管理作業の必要性を考える。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り	【知識・技能】 ・摘蕾、摘果、新梢管理摘などの目的と方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・効率よい作業を見出し工夫して実習しようとしている。 調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
1	単元3	6	中間・期末	【単元名】第6章 ナシ① 品種と特性 栽培管理 摘果、誘引、袋掛け 【目標】 交配について理解する。 摘果、誘引、袋掛けの目的と方法について理解する。 管理作業の必要性を考える。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り	【知識・技能】 ・他家受粉について理解している。 ・摘果、誘引、袋掛けの目的と方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・実習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 4	6	中間・ 期末	【単元名】第8章 モモ 栽培管理 摘果、芽かき、袋掛け 収穫 【目標】 摘果、芽かき、袋掛けの目的と方法について理解する。 出荷調整の判断ができる。 管理作業の必要性を考える。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 ・摘果、芽かき、袋掛けの目的と方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・販売基準を理解し、出荷の判断ができる。 ・調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元 5	12	中間・ 期末	【単元名】第7章 ブドウ① 栽培の現状と特性 品種と特性 栽培管理 新梢管理、摘穂、整房、 ジベレリン処理、 摘粒、誘引、袋掛け 【目標】 管理作業を通して、品質を向上させる手立てを理解する。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 摘穂、ジベレリン処理、整房、摘粒、誘引、袋掛けなどの目的と方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・効率よい作業を見出し工夫して実習しようとしている。 ・調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
1	単元 6	3	期末	【単元名】第9章 カキ① 栽培管理 摘果、芽かき 【目標】 摘果作業を通して、品質を向上させる手立てを理解する。 芽かきの必要性を考える。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 ・芽かき、摘果の程度、残す果実を理解して実践できる。 【思考・判断・表現】 ・安全に配慮しながら効率よい作業を実践しようとしている。 ・調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 7	12	中間	【単元名】第4章 カンキツ類 品種と特性 栽培管理 摘果、収穫、秋肥え 出荷調整 【目標】 摘果や収穫、出荷調整の仕方を理解する。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 収穫や出荷調整の方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・安全に配慮しながら効率よい作業を実践しようとしている。 ・摘果する果実、残す果実を正確に判断する。 ・調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 8	9	中間	【単元名】ブドウ② 栽培管理 収穫、出荷調整 園内除草 【目標】 収穫や出荷調整の仕方を理解する。 管理作業の必要性を考える。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 収穫や出荷調整の方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・購買意欲を高めるようバランスを整えながらパックに詰めようとしている。 ・GAPを意識しながら効率よい作業を実践しようとしている。 調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 9	9	期末	【単元名】ナシ② 栽培管理 収穫、出荷調整 園内除草 【目標】 収穫や出荷調整の仕方を理解する。 管理作業の必要性を考える。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 収穫や出荷調整の方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・効率よい作業を見出し工夫して実習しようとしている。 ・安全に配慮しながら効率よい作業を実践しようとしている。 ・調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 10	12	期末	【単元名】カキ② 栽培管理 ネット掛け 収穫、出荷調整 【目標】 収穫や出荷調整の仕方を理解する。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 ・収穫や出荷調整の方法について理解し実践できる。 【思考・判断・表現】 ・安全に配慮しながら効率よい作業を実践しようとしている。 ・調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元 11	6	学年末	【単元名】カキ③ 剪定 【目標】 剪定の方法を知り、切る枝、残す枝の判断ができる。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 結果習性や剪定枝の理解ができる。 【思考・判断・表現】 ・栄養成長と生殖成長を理解したうえで、剪定枝と残す枝を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元 12	6	学年末	【単元名】第10章その他の果樹 クリ 剪定 【目標】 クリの選定の目的と方法について理解し、実践できる。 結果習性を理解し整枝、剪定の判断ができる。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 ・結果習性や剪定枝の理解ができる。 【思考・判断・表現】 一株ごとの結果母枝数を判断したうえで、剪定枝と残す枝を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元 13	6	学年末	【単元名】ブドウ③ 剪定 【目標】 短梢剪定、長梢剪定の違いを理解し、剪定することができる。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					【知識・技能】 ・短梢剪定、長梢剪定を理解し剪定できる。 【思考・判断・表現】 ・残す芽の数を正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)を中心に記述)
3	単元 14	6	学年 末	<b>【単元名】ナシ③</b> 予備枝作り 誘引 剪定 <b>【目標】</b> 予備枝を作りながら枝を誘引し 不要な枝は剪定することができる。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					<b>【知識・技能】</b> ・徒長枝を理解し剪定できる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・予備枝を判断して残しことができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元 15	6	学年 末	<b>【単元名】カンキツ類②</b> 剪定 <b>【目標】</b> 剪定の方法を知り、切る枝、残す枝の判断ができる。	・講義 ・実習 ・定期テスト ・振り返り					<b>【知識・技能】</b> 結果習性や剪定枝の理解ができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・栄養成長と生殖成長を理解したうえで、剪定枝と残す枝を判断できる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

## 令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業(都市園芸科)		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		草花応用		3	105時間	
対象学年組 第3学年 1組 選択						
使用教科書 草花(実教出版)						
科目:「草花応用」の目標、評価方法						
		【知識及び技術】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
目標		草花生産や利用の学習を通して、草花の生産の知識と技術、流通並びに生活の中での草花の利用形態を展示や出展することで、体系的・系統的に理解し身に付けている。		草花に関する課題を発見し、農業への実践事例や草花の生産や利用の意義と役割などを踏まえ、環境への配慮など科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養っている。		草花の生産や利用の学習を通して、農産物の品質改善や商品化を図るとともに、安全で安心できる農産物の生産を目指し、生活の中での草花の利用した農業に主体的かつ協動的に取り組む態度を養っている。
評価方法		定期テスト ノート 実習技術		定期テスト ノート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)を中心に記述)
1	単元1	19	中間	<b>【単元名】</b> 鉢ものと花壇用苗の生産と利用 <b>【目標】</b> ・シクラメンの培養土づくり、鉢替え方法を身につける。 ・花壇苗の播種、鉢上げ、追肥、摘蕾の栽培管理を理解する。 ・大型花壇のデザイン画作成について、植物の草丈や色彩による組み合わせ方法を理解する。	・講義と実習 ・ノート ・中間考査 ・振り返りシート	<b>【知識・技術】</b> ・シクラメンの培養土づくり、鉢替え方法を身につけている。 ・花壇苗の播種、鉢上げ、追肥、摘蕾の栽培管理を理解している。 ・大型花壇のデザイン画作成について、植物の草丈や色彩による組み合わせ方法を理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・シクラメンと花壇苗の栽培管理、花壇デザイン画作成、植物ホルモン濃度実験において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・シクラメンと花壇苗の栽培管理において、主体的かつ協動的に課題を解決しようとしている。
1	単元2	22	期末	<b>【単元名】</b> 鉢ものと花壇用苗の生産と利用 <b>【目標】</b> ・鉢物の栽培管理方法を理解する。 ・大型花壇(都庁花壇)の植栽方法を理解する。 ・コンテナとハンギングバスケットのデザインと植栽方法を理解する。	・講義と実習 ・ノート ・期末考査 ・振り返りシート	<b>【知識・技術】</b> ・ポインセチアの挿し木、シクラメンやクジャクサボテンの鉢替え方法を身につけている。 ・大型花壇(都庁花壇)の植栽方法を理解している。 ・コンテナとハンギングバスケットの植栽について、植物の草丈や色彩による組み合わせ方法を理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・大型花壇やコンテナ、ハンギングバスケットの植栽において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・鉢物の栽培管理や大型花壇とコンテナの植栽において、主体的かつ協動的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 3	19	中間	<b>【単元名】</b> 鉢ものと花壇用苗の生産と利用 <b>【目標】</b> ・鉢花の種類による栽培管理方法を理解する。 ・展示作品の制作方法を理解する。	・講義と実習 ・ノート ・中間考査 ・振り返りシート					<b>【知識・技術】</b> ・シクラメンの定植、葉組み、リング掛け、追肥、ホルモン処理の方法を理解している。 ・日比谷ガーデニングショーに出展するハンギングバスケット、コンテナを制作方法を身につけている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・シクラメンの栽培管理とハンギングバスケットの作成において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・シクラメンの栽培管理とハンギングバスケットの作成において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 4	28	期末	<b>【単元名】</b> 鉢ものと花壇用苗の生産と出荷調整、販売 <b>【目標】</b> ・農高祭に販売する鉢物などの手入れや調整方法、販売方法を理解する。 ・展示作品の制作方法を理解する。	・講義と実習 ・ノート ・期末考査 ・振り返りシート					<b>【知識・技術】</b> ・シクラメン、サボテンの商品化について理解している。 ・農高祭に販売する鉢物などの手入れや調整、販売方法を理解している。 ・農高祭に出展するハンギングバスケット、コンテナ、水槽デザインを制作方法を理解している。 ・洋ランの栽培管理を理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・鉢ものの調整や販売方法、展示物の制作において課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・鉢ものの調整や販売方法、展示物の制作において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元 5	17	学年末	<b>【単元名】</b> 鉢もの生産と利用 <b>【目標】</b> ・洋ランの栽培管理を理解する。 ・卒業制作の展示制作方法を理解する。	・講義と実習 ・ノート ・学年末考査 ・振り返りシート					<b>【知識・技術】</b> <b>【知識・技能】</b> ・洋ランの栽培管理について理解している。 ・洋ランの鉢替え、株分け、ヘゴ板付けの方法、商品化について理解している。 ・鉢ものを利用した卒業展示制作について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・洋ランの栽培管理や卒業展示制作において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・洋ランの栽培管理や卒業展示制作において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)	
科目		専攻 フラワーデザイン		3	105時間	
対象学年組 第3学年 1組						
使用教科書						
科目:「専攻 フラワーデザイン」の目標, 評価方法						
		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】		
目標		フラワーデザインを理解する 場面に応じた作品が考えられる フラワーデザイン分野の必要性が考えられる	フラワーデザインの必要な場面を判断できる フラワーデザインの可能性を考えられる	フラワーデザインの有効性を理解し、積極的に取り入れることができる 他者と協働的に取り組むことができる		
評価方法		定期テスト ノート 作品への取り組み	定期テスト ノート 作品への取り組み 授業態度	観察(学習状況, 授業中の取り組みなど) 提出物状況 学習の振り返り		
学期	通し番号	配当時数	定期 審査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	12	中間・期末	【単元名】 基本のアレンジメント 【目標】 ・アレンジメントに適した花材を理解する	・ヴァーティカル ・ドライアンギュラー ・ホリゾンタル ・スプレイシェイプ などの基本的なアレンジメント	【知識・技能】 ・基本のアレンジメント理解している ・場面に応じた基本のアレンジメントが制作できる 【思考・判断・表現】 ・基本のアレンジメントの作り方が理解できている ・花材の配置が判断できる ・場面に応じたアレンジメントを判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元2	9	中間・期末	【単元名】 フリースタイルアレンジメント 【目標】 ・フリースタイルアレンジメントに適した花材を理解する	・母の日 ・季節に応じた作品	【知識・技能】 ・フリースタイルアレンジメントを理解している ・場面に応じたアレンジメントが制作できる 【思考・判断・表現】 ・フリースタイルアレンジメントの作り方が理解できている ・花材の配置が判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元3	15	中間・期末	【単元名】 花束 【目標】 ・場面に応じた花束を理解する ・様々な形の花束を制作する	・スパイラル ・枠組みを使った ・パラレル ・フラワーボール ・フリースタイル	【知識・技能】 ・花束の基本を理解している ・基本技術が理解できている 【思考・判断・表現】 ・花束の作り方が理解できている ・花束の基本技術を活用できる ・場面に応じた花束づくりを判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元4	6	中間・期末	【単元名】 様々なラッピング 【目標】 ・ラッピングの意味を理解する ・様々なラッピングの技術を取り入れる	・ラッピングの意味 ・ラッピングの応用	【知識・技能】 ・様々なラッピング方法を理解している ・適切なラッピングができる 【思考・判断・表現】 ・基本的なラッピングが理解できている ・場面に応じたラッピングが判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元5	6	中間・期末	【単元名】 枝などを使った花器づくり 【目標】 ・木々の枝等の装飾的利用を理解する ・資材を工夫して作品づくりに取り組む	・さくらの枝の花器 ・トクサを使った花器					【知識・技能】 ・基本のアレンジメント理解している ・場面に応じた基本のアレンジメントが制作できる 【思考・判断・表現】 ・基本のアレンジメントの作り方が理解できている ・花材の配置が判断できる ・場面に応じたアレンジメントを判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元6	3	中間・期末	【単元名】 投げ入れ 【目標】 様々な活け方を理解する	・お月見をテーマにした活け方					【知識・技能】 ・生け花の手法を理解している ・投げ入れの方法が理解できている 【思考・判断・表現】 ・投げ入れの手法が理解できている ・生け花の作品作りができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元7	3	中間・期末	【単元名】 水揚げの方法 【目標】 ・草花の違いによる水揚げ方法を理解する	・水揚げの方法					【知識・技能】 ・水揚げの方法理解している 【思考・判断・表現】 ・花材の応じた水揚げが理解できている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元8	6	中間・期末	【単元名】 資材を使った造形 【目標】 ・ワイヤー等の扱い方を理解する	・花冠 ・カリキュースの花器					【知識・技能】 ・ワイヤー等を利用した花器づくりを理解している 【思考・判断・表現】 ・カリキュースの作り方が理解できている ・適切な花器(枠組み)を判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元9	15	中間・期末	【単元名】 服装の応じたフラワー装飾 【目標】 ・ファッションショーの衣装に合わせた装飾を理解する	・ファッションショーの衣装に合ったデザイン ・依頼者ニーズに沿った作品作り					【知識・技能】 ・ファッションショーでのフラワーアクセサリの意義を理解している ・衣装に合わせた作品作りができる 【思考・判断・表現】 ・依頼者のニーズを理解できている ・イメージ応じた花材が判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
3	単元10	12	中間・期末	【単元名】 アートフラワーのアクセサリー 【目標】 ・アートフラワーの扱い方を理解する ・製品を開発し、販売を考える	・アートフラワーのコサージュ ・アートフラワーの花冠					【知識・技能】 ・アートフラワーの扱い方を理解している ・場面に応じたアートフラワー作品制作できる 【思考・判断・表現】 ・アートフラワーの特性が理解できている ・適切な花材が選べる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
3	単元 11	3	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> ドライフラワーの作品づくり <b>【目標】</b> ・ドライフラワーの扱い方を理解する ・ドライフラワーの作品をを考える	・ドライフラワーの壁掛け					<b>【知識・技能】</b> ・ドライフラワーの特性を理解している ・場面に応じたドライフラワーの作品ができる <b>【思考・判断・表現】</b> ・ドライフラワーの特性を活かした作品が作れる ・場面に応じた作品が判断できる <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
	単元 12	3	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> プリザーブドフラワーの作品作り <b>【目標】</b> ・プリザーブドフラワーを理解する ・プリザーブドフラワーの利用を考える	・プリザーブドフラワーの小物づくり					<b>【知識・技能】</b> ・プリザーブドフラワーの特性を理解している ・場面に応じたプリザーブドフラワーの作品が制作できる <b>【思考・判断・表現】</b> ・プリザーブドフラワーの特性を理解できている ・場面に応じたプリザーブドフラワーの作品が判断できる <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
	単元 13	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> ・季節のオーナメント(リース、オブジェ) <b>【目標】</b> ・行事に応じた装飾を理解する ・文化の違いによる装飾を考える ・リースの制作を理解する	・季節のオーナメント クリスマスリース クリスマスオブジェ					<b>【知識・技能】</b> ・季節のオーナメントを理解している ・場面に応じたオーナメント等が制作できる <b>【思考・判断・表現】</b> ・基本のリースの作り方が理解できている ・文化的背景を考えた装飾が判断できる <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。
	単元 14	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> ウエディングブーケ <b>【目標】</b> ・ウエディングの場面に応じた装飾を理解する ・ウエディングドレスに合ったブーケを考える	・ウエディングブーケの歴史 ・ウエディングブーケの制作					<b>【知識・技能】</b> ・基本のウエディングブーケを理解している ・ウエディングにかかわる花の装飾が理解できている <b>【思考・判断・表現】</b> ・基本のウエディングブーケ作り方が理解できている ・ウエディングの場面に応じたブーケやフラワー装飾が判断できる <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・積極的に授業に取り組んでいる ・協働的に課題を解決しようとしている。

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		食品科学			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		課題研究			3	105時間		
対象学年組		第3学年 3組、組、組、組、組						
使用教科書		食品製造・食品化学・微生物利用・食品成分表						
科目:「課題研究」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		農業に関するプロジェクト学習、産業現場における実習、高大連携を通して、調査・研究・考察・まとめの方法を理解する。また、実習、実験を通して、知識と技術を身に付けることができる。			農業に関するプロジェクト学習を通して、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。また、実習、実験を通して、考えたアイデアを表現する力、他者の作品を鑑賞する力を養成する。			農業に関するプロジェクト学習、高大連携連携を通して、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
評価方法		定期テスト ノートおよびレポート 学習の振り返り			定期テスト ノートおよびレポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表) 学習の振り返り			観察(学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の発言) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)を中心に記述)
1	単元1	3	中間・期末	【単元名】 オリエンテーション 1年間の計画  【目標】 1年間の研究の進め方確認し各自の課題に沿って計画立案しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等			【知識・技能】 ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解している。 ・自身の研究内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元2	30	中間・期末	【単元名】 研究準備・実施・評価 【目標】 各自の課題研究を通して自身の研究について理解する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等			【知識・技能】 ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解している。 ・自身の研究内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元3	45	中間・期末	【単元名】 研究準備・実施・評価 1学期研究まとめ 【目標】 各自の研究を通して課題について理解する。 1学期のまとめとして、中間報告書作成しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等			【知識・技能】 ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解している。 ・1学期の研究内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 自身の研究内容についてまとめようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)を中心に記述)
2	単元 4	15	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 研究発表会準備・実施 <b>【目標】</b> 自身の研究を通して発表会用パ ワーポイント作成しようとしてい る 他者の発表について考え理解し ようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活 用 等					<b>【知識・技能】</b> ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解して いる。 ・1年間の研究内容について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学 習を通して解決しようとしている。 自身の研究内容についてPowerPointを活用し発表 資料を作成し、まとめようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協 働的に課題を解決しようとしている。 発表に積極的に参加している。
3	単元 5	12	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 1年間のまとめ(研究総評・反省) <b>【目標】</b> 1年間の研究を通して自身の総 合的自己評価をしようとしてい る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活 用 等					<b>【知識・技能】</b> ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解して いる。 ・1年間の研究内容について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学 習を通して解決しようとしている。 自身の研究内容についてまとめようとしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協 働的に課題を解決しようとしている。

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		総合実習			3	105時間		
対象学年組 第3学年2組								
使用教科書 造園施工管理、造園計画、造園植栽								
科目:「総合実習」の目標、評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		造園設計や施工管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技能を身に付けるようにする。			造園設計や施工管理に関する課題を発見し、造園設計に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かすことができる。			造園設計や施工管理について目的や環境に応じた合理的な造園図面につながるよう自ら学び、主体的かつ協働的課題を解決しようとする。
評価方法		授業課題 小テスト レポート ワークシート			授業課題(作品) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り			ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の設計  <b>【目標】</b> ・造園設計の重要性と特色を理解する。 ・平面図・透視図を効果的に活用し表現する ・作成した造園図面を適切に表現・発表する				<b>【知識・技能】</b> 造園設計について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 課題庭園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 課題庭園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、主体的かつ協働的に課題を解決している。
1	単元1	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作  <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・親柱・間柱を建て込むことができる。 ・いぼ結びができる。 ・胴縁・立子をつけることができる。 ・縁石・敷石をすえつけることができる。	課題庭園の制作 ・四つ目垣 ・縁石・敷石・自然石の施工 ・樹木の移植 ・整地 ・一人1台端末の活用			<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元2	4	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作  <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・親柱 ・間柱を建て込むことができる。 ・いぼ結びができる。 ・胴縁・立子をつけることができる。 ・縁石 ・敷石をすえつけることができる。	課題庭園の制作 ・四つ目垣 ・縁石・敷石・自然石の施工 ・樹木の移植 ・整地 ・一人1台端末の活用			<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 3	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・親柱 ・間柱を建て込むことができる。 ・いぼ結びができる。 ・胴縁・立子をつけることができる。 ・縁石 ・敷石をすえつけることができる。	課題庭園の制作 ・四つ目垣 ・縁石・敷石・自然石の施工 ・樹木の移植 ・整地 ・一人1台端末の活用					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元 4	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・親柱 ・間柱を建て込むことができる。 ・いぼ結びができる。 ・胴縁・立子をつけることができる。 ・縁石 ・敷石をすえつけることができる。	課題庭園の制作 ・四つ目垣 ・縁石・敷石・自然石の施工 ・樹木の移植 ・整地 ・一人1台端末の活用					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 5	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・親柱 ・間柱を建て込むことができる。 ・いぼ結びができる。 ・胴縁・立子をつけることができる。 ・縁石 ・敷石をすえつけることができる。	課題庭園の制作 ・四つ目垣 ・縁石・敷石・自然石の施工 ・樹木の移植 ・整地 ・一人1台端末の活用					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 6	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・親柱 ・間柱を建て込むことができる。 ・いぼ結びができる。 ・胴縁・立子をつけることができる。 ・縁石 ・敷石をすえつけることができる。	○課題庭園の作成 ・四つ目垣					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)を中心に記述)
2	単元 7	6	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・自然石をすえつけることができる。低木を移植することができる。 ・整地し、課題を完成させることができる。 ・図面の寸法に注意し、課題の庭園を完成することができる。	○石の施工 ・縁石・敷石 ・自然石 ・飛び石					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 8	8	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・自然石をすえつけることができる。低木を移植することができる。 ・整地し、課題を完成させることができる。 ・図面の寸法に注意し、課題の庭園を完成することができる。	○石の施工 ・縁石・敷石 ・自然石 ・飛び石					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 9	8	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> ・自然石をすえつけることができる。低木を移植することができる。 ・整地し、課題を完成させることができる。 ・図面の寸法に注意し、課題の庭園を完成することができる。	○築山・植栽の施工					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 10	4	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> 造園技術の重要性と特色を理解する。 ・自然石をすえつけることができる。低木を移植することができる。 ・整地し、課題を完成させることができる。 ・図面の寸法に注意し、課題の庭園を完成することができる。	○整地・課題庭園の完成					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
3	単元 11	4	中間・ 期末	<b>【単元名】</b> 課題庭園の制作 <b>【目標】</b> ・自然石をすえつけることができる。低木を移植することができる。 ・整地し、課題を完成させることができる。 ・図面の寸法に注意し、課題の庭園を完成することができる。	○整地・課題庭園の完成					<b>【知識・技能】</b> 造園技術について体系的・系統的に理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 造園技術に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 造園技術について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業(緑地計画科)		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		造園計画		2	70時間		
対象学年組 第3学年2組							
使用教科書 造園計画(文部科学省)							
科目:「造園計画」の目標, 評価方法							
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
目標		造園計画について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身にけ理解し、実施することができる。		造園計画に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養い、学習や生活に生かすことができる。		造園計画について目的や環境に応じた造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート		定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り		ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り	
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)	
1	単元1	10	中間・期末	【単元名】 卒業制作の造園図面作成  【目標】 卒業制作を通して、庭園設計について理解をする。コンセプトにあった計画をしようとしている。	・庭園設計のコンセプトづくり ・平面図作成 ・立面図作成 ・透視図作成 ・レタリング ・着色手法	【知識・技能】 庭園の設計について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身にけ理解し、実施することができる。 【思考・判断・表現】 庭園の設計に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養い、学習や生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 設計の目的や環境に応じた造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	
1	単元2	10	中間・期末	【単元名】 住宅庭園の計画 【目標】 住宅庭園の計画を通して、機能と環境について理解する。	・機能と環境条件 ・計画と設計の手順 ・住宅庭園の構成	【知識・技能】 住宅庭園の設計について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身にけ理解し、実施することができる。 【思考・判断・表現】 住宅庭園の設計に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養い、学習や生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 住宅庭園の目的や環境に応じた造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	
2	単元3	10	中間・期末	【単元名】 造園図面作成《透視図の応用》 【目標】 造園図面作成を通して、透視図について理解する。	・一点透視図の復習 ・二点透視図の作成 ・樹木や石の表現	【知識・技能】 透視図の作成について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身にけ理解し、実施することができる。 【思考・判断・表現】 造園図面から自身の考えやコンセプトを表現し、他者へ伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	

学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元4	10	中間・期末	<p>【単元名】 屋上・室内・壁面緑化の計画</p> <p>【目標】 屋上・室内・壁面緑化の計画を通して、都市環境について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各緑化の環境と条件</li> <li>・各緑化の計画と設計</li> <li>・各緑化の構成</li> </ul>					<p>【知識・技能】 屋上・室内・壁面緑化の計画について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付け理解し、実施することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 屋上・室内・壁面緑化の計画から自身の考えや設計を表現し、伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 屋上・室内・壁面緑化計画の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。</p>
2	単元5	10	中間・期末	<p>【単元名】 CADによる造園図面作成</p> <p>【目標】 PCを使用した図面作成を通して、CADの操作について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの基本操作</li> <li>・CADによる平面図作成</li> <li>・CADによる透視図の作成</li> </ul>					<p>【知識・技能】 CADによる造園図面作成を理解するとともに、関連する技術を身に付け理解し、実施することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 CADでの造園図面から自身の考えやコンセプトを表現し、他者へ伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。</p>
3	単元6	10	中間・期末	<p>【単元名】 造園デザイン《製図表現》</p> <p>【目標】 造園デザインを通して、図面での表現方法を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設の図面作成</li> <li>・公共の造園設計</li> </ul>					<p>【知識・技能】 造園図面の作成について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付け理解し、実施することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 造園図面から自身の考えやコンセプトを表現し、他者へ伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。</p>
3	単元7	10	中間・期末	<p>【単元名】 日本庭園・外国庭園の設計</p> <p>【目標】 日本や外国の庭園設計を通して、現代への影響や活用について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本庭園の構成</li> <li>・外国の庭園様式の構成</li> </ul>					<p>【知識・技能】 日本と外国の庭園について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付け理解し、実施することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本と外国の庭園について自身の考えや設計を表現し、伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 伝統的な手法から創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。</p>

## 令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業		単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		造園施工管理		2	70時間		
対象学年組 第3学年2組							
使用教科書 造園施工管理、造園施工必携							
科目:「造園施工管理」の目標, 評価方法							
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
目標		施工管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技能を身に付けるようにする。		施工管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かすことができる。		施工管理について目的や環境に応じた合理的な造園施工につながるよう自ら学び、主体的かつ協働的課題を解決しようとする。	
評価方法		レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り		レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り		レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り	
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)	
1	単元1	12	中間・期末	【単元名】 金閣寺垣施工  【目標】 金閣寺垣の施工方法を身に付ける。	金閣寺垣制作	【知識・技能】 金閣寺垣の施工手順を理解している。 【思考・判断・表現】 ポイントや注意点を気にかけて施工に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業手順や注意点をレポートにまとめている。	
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 卒業庭園 片付け・整地  【目標】 植栽移植の技術を身に付ける。 石材管理の技術を身に付ける。 整地技術を身に付ける。”	卒業庭園 片付け・整地	【知識・技能】 植栽の移植方法や整地の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 植栽の移動先について、植栽の大きさなども考慮し、植え付け先を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで共有・分担し、声を掛け合いながら作業をしている。	
1	単元3	6	中間・期末	【単元名】 石材施工  【目標】 チェーンブロックを使用した石材運搬の方法や石張りの方法を身に付ける。	チェーンブロック 石張り	【知識・技能】 石材の運搬方法について理解している。 【思考・判断・表現】 石の重量や大きさ・形に合わせた運搬の方法を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲にけががないよう、声を掛け合いながら主体的に作業をしている。	

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)				
2	単元 4	6	中間・ 期末	【単元名】 高木剪定  【目標】 高所での安全を確保の方法を理 解し、剪定技術を身に付ける。	アラカシ・シラカシの 剪定 ハーネスのつけ方	【知識・技能】 ハーネスの取り付けを理解している。 【思考・判断・表現】 高所での作業ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 声を掛け合い、周りを確認して安全に作業に取り組 むことができている。				
2	単元 5	12	中間・ 期末	【単元名】 支柱制作  【目標】 鳥居型支柱を1人で制作すること ができる。	鳥居型支柱 (四脚鳥居)	【知識・技能】 鳥居型支柱の制作方法を理解している。 【思考・判断・表現】 1人で針金の結束ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 声を掛け合い、周りを確認して安全に作業に取り組 むことができている。				
2	単元 6	8	中間・ 期末	【単元名】 卒庭 植栽管理  【目標】 刈り込みや剪定技術を高める。	中低木の剪定、刈り 込み	【知識・技能】 刈り込みや中低木の剪定方法を理解している。 【思考・判断・表現】 目的の形に応じた管理方法の違いに気を付けて作 業をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業手順や注意点をレポートにまとめている。				
2	単元 7	12	中間・ 期末	【単元名】 コンクリエ  【目標】 コンクリートの使用方法を理解 し、施工方法を身に付ける。	コンクリートの園路施 工	【知識・技能】 コンクリートの使用方法について理解している。 【思考・判断・表現】 施工方法のポイントを考えて作業している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業手順やポイントをまとめられている。				
3	単元 8	6	中間・ 期末	【単元名】 竹細工  【目標】 竹細工の方法を理解し、技術を 身に付けている。	竹細工	【知識・技能】 竹割の方法、以降の加工方法について理解してい る。 【思考・判断・表現】 施工方法のポイントを考えて作業している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業手順やポイントをまとめられている。				

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)			
科目		生物活用			2	70時間			
対象学年組		第3学年		1～5組					
使用教科書		生物活用							
科目:「生物活用」の目標, 評価方法									
目標		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>土とその大切さを理解する。</li> <li>自然の循環を理解する。</li> <li>野菜の栽培方法を理解し、土を育てその力を活かし栽培することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自然を理解し、土を育て、その力で野菜を育てることができる。</li> <li>毎時間の内容をしっかりノートにまとめることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の有効性を理解し、積極的に、協力的に取り組むことができる。</li> </ul>					
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業・実習態度</li> <li>実習技能</li> <li>ノート</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>よく観察し、より良く考察しながら実習し、ノートにしっかり纏めている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の有効性を理解し積極的に取り組んでいる。</li> <li>学習の振り返りをしっかり行い、次の実習に活かしている。</li> </ul>		
学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	知	思	態	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	16	中間	<b>【単元名】</b> ・夏野菜の育苗 ・育苗の目的と方法の大切さを理解する ・夏野菜の定植と栽培  <b>【目標】</b> ・夏野菜の育苗と栽培を通して、育苗の方法と、「種半作」「苗半作」の大切さを理解する。 ・畝作り、定植、栽培管理の方法を理解し実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義・実習</li> <li>枝豆の播種</li> <li>サトイモの植え付け</li> <li>キュウリ、カボチャ、トマト、ナス、ピーマンの定植</li> <li>芽かき、誘引、中耕、除草、追肥、土寄せ、収穫など</li> <li>ノート点検 等</li> </ul>	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> ・よい苗の条件を理解している。 ・育苗方法を理解し、実践できる ・苗の生育状況を理解し定植を実施できる。 ・苗の生育状況に応じた栽培管理ができる。 ・よい土を理解している。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・生育に応じた栽培管理を理解している。 ・生育を理解し、適切に栽培管理ができる。 ・カマ、クワなどの道具を適切に使用できる。 ・ノートをより良く纏めることができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 学習の有効性を理解し、積極的に、協力的に取り組むことができる。
1	単元2	18	期末	<b>【単元名】</b> 夏野菜(ウリ科、ナス科など)の栽培 <b>【目標】</b> ・夏野菜の栽培を通して、生育状況、栽培環境、栽培管理などを理解し、実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>果菜類の栽培管理</li> <li>整枝、誘引、中耕、除草、追肥、土寄せ、除草、病害虫防除、収穫など</li> <li>ノート点検 等</li> </ul>	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> ・よい苗の条件について理解している。 ・苗の状態を理解して定植を実施している。 ・生育状況に応じた栽培管理、適期の栽培方法を理解し実践できる。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・生育に応じた栽培管理を理解している。 ・生育を理解し、適切に栽培管理ができる。 ・カマ、クワなどの道具を適切に使用できる。 ・ノートをより良く纏めることができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 学習の有効性を理解し、積極的に、協力的に取り組むことができる。

学期	通し番号	配当時間	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	知 思 態			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元3	12	中間	<p>【単元名】 秋冬野菜(葉菜類、根菜類)の栽培</p> <p>【目標】 ・夏野菜の栽培を通して、生育状況、栽培環境、栽培管理などを理解し、実践できる。</p>	<p>・講義</p> <p>・自由作</p> <p>・葉菜類、根菜類、花菜類の栽培管理</p> <p>・畝作り、播種、中耕、除草、追肥、土寄せ、除草、病害虫防除、収穫など</p> <p>・ノート点検 等</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・野菜にあった栽培計画をたて、畝を作り、定植し、栽培できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 生育状況に応じた、適切な栽培管理ができる。 ・適切にノートをまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習の有効性を理解し、積極的に、協力的に取り組むことができる。</p>
2	単元4	16	期末	<p>【単元名】 秋冬野菜(葉菜類、根菜類)の栽培</p> <p>【目標】 ・秋冬野菜の栽培を通して、生育状況、栽培環境、栽培管理などを理解し、実践できる。</p>	<p>・講義</p> <p>・自由作</p> <p>・葉菜類、根菜類、花菜類の栽培管理</p> <p>・畝作り、播種、中耕、除草、追肥、土寄せ、除草、病害虫防除、収穫など</p> <p>・ノート点検 等</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・野菜の育成にあった栽培管理ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 生育状況に応じた、適切な対応ができる。 ・適切にノートをまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習の有効性を理解し、積極的に、協力的に取り組むことができる。</p>
3	単元5	8	学年末	<p>【単元名】 秋冬野菜(葉菜類、根菜類)の収穫、加工</p> <p>【目標】 ・秋冬野菜の栽培、収穫、加工を通して、土壌、野菜、健康の繋がりを理解し、土壌や自然の大切さ、よりよい農業の在り方を認識する。</p>	<p>・講義</p> <p>・自由作</p> <p>・葉菜類、根菜類、花菜類の栽培と収穫</p> <p>・除草、追肥、病害虫防除、収穫など</p> <p>・ダイコンの加工(たくあん漬け)</p> <p>・ノート点検 等</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・野菜の育成にあった栽培管理を理解し取り組むことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生育状況に応じた、適切な対応ができる。 ・適切にノートをまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習の有効性を理解し、積極的に、協力的に取り組むことができる。</p>

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		造園基礎			2	70時間		
対象学年組 第3学年 選択								
使用教科書								
科目:「造園基礎」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		造園分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。			造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かすことができる。			造園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的課題を解決しようとする。
評価方法		小テスト レポート ワークシート			小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り			ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)を中心に記述)
1	単元1	6	中間・ 期末	【単元名】 造園の特色と役割  【目標】 造園の特色と役割について理解する。	造園植栽 一人1台端末の活用等			【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元2	6	中間・ 期末	【単元名】 植物材料の特性 【目標】 造園樹木について観察や実習を通して、造園空間を構成するために必要な材料の特性とその取扱いを具体的に理解する。	植物材料			【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園植栽に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園植栽について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元3	10	中間・ 期末	【単元名】 植物材料の特性 【目標】 造園樹木について観察や実習を通して、造園空間を構成するために必要な材料の特性とその取扱いを具体的に理解する。	植物材料			【知識・技能】 造園植栽について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園植栽に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園植栽について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 4	6	中間・ 期末	【単元名】 ・植物材料の特性 【目標】 花壇用草花について観察や実習を通して、造園空間を構成するために必要な材料の特性とその取扱いを具体的に理解する。	植物材料	【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 5	8	中間・ 期末	【単元名】 岩石材料の特性 【目標】 岩石の種類と特性について、種類、成因、石理、節理、層理などの特性に関する知識を習得して、主な自然石材の特徴や用途を理解する。	岩石材料	【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 6	6	中間・ 期末	【単元名】 岩石材料の特性 【目標】 自然石材の種類と特性について学習させる。また、目的に応じた自然石材の選択、取扱いに関する知識と技術を習得し、主な自然石材の特徴や用途を理解する。	岩石材料	【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 7	6	中間・ 期末	【単元名】 岩石材料の特性 【目標】 加工石材の種類と特性について学習させる。また、目的に応じた加工石材の選択、取扱いに関する知識と技術を習得し、各種加工石材や灯籠、水鉢などの石づくり製品の特徴や用途を理解する。	岩石材料	【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 8	6	中間・ 期末	【単元名】 各種材料の特性 【目標】 木材の特性について学習する。また、目的に応じた木材の選択、取扱いに関する知識と技術を習得し、角材、丸太、樹皮などの主な木材の種類や特徴、用途を理解する。	各種材料	【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
3	単元 9	4	中間・ 期末	【単元名】 各種材料の特性 【目標】 竹材の特性について学習する。 また、目的に応じた竹材の選 択、取扱いに関する知識と技術 を習得し、主な竹材の種類や特 性、用途を理解する。	各種材料					【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業 に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力 を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽に つながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課 題を解決しようとしている。
3	単元 10	6	中間・ 期末	【単元名】 各種材料の特性 【目標】 金属材料の特性について学習す る。また、目的に応じた金属材料 の選択、取扱いに関する知識と 技術を習得し、鉄筋、ワイヤー、 針金などの金属材料や門扉、 フェンスなどの金属製品の種類 や特性、用途を理解する。	各種材料					【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業 に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力 を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽に つながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課 題を解決しようとしている。
3	単元 11	6	中間・ 期末	【単元名】 各種材料の特性 【目標】 窯製品の特性について理解す る。また、目的や施工に応じた窯 製品の選択、取扱いに関する知 識と技術を習得し、窯製品の種 類や特性、用途を理解する。	各種材料					【知識・技能】 造園について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 造園に関する課題を発見し、農業や農業関連産業 に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力 を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園について目的や環境に応じた合理的な植栽に つながるよう自ら学び、 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課 題を解決しようとしている。

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		お茶と文化(自由選択科目)			2	70時間		
対象学年組 第3学年 1~5組								
使用教科書 「表千家流」お茶のおけいこ								
科目:「お茶と文化(自由選択科目)」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】	
目標		茶道を通して、露地庭について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。茶道について理解し、お点前を実践できる作法を身につける。		茶道と日本文化に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かすことができる。			茶道と日本文化・露地庭について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的課題を解決しようとする。	
評価方法		実技テスト 小テスト レポート ワークシート		実技テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り			ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り	
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)		
1	単元1	10	中間	【単元名】 基本の所作・意義と役割  【目標】 茶道の伝統や特色と所作について理解する。	お辞儀・立ち上がり ふすまの開閉 道具の持ち方  茶道・日本文化の特色	【知識・技能】 茶道、日本文化・露地庭について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 茶道・日本文化に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 茶道・日本文化について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。		
1	単元2	12	中間	【単元名】 茶道道具の扱い方の基本  【目標】 茶道道具の伝統や特色、扱い方について理解する。	茶道道具の扱い方の基本を学ぶ	【知識・技能】 茶道、日本文化・露地庭について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 茶道・日本文化に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 茶道・日本文化について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。		
1	単元3	12	期末	【単元名】 茶道・基本のけいこ①  【目標】 茶道について、基本のけいこを通して、露地庭空間を構成するために必要な所作とその取扱いを具体的に理解する。	棗の扱い方 茶杓のふきかた 柄杓の扱い方 茶巾のたたみ方	【知識・技能】 茶道、日本文化・露地庭について体系的・系統的に理解している。 【思考・判断・表現】 茶道・日本文化に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 茶道・日本文化について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。		

学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 4	10	中間	<p>【単元名】 茶道・基本のけいこ②</p> <p>【目標】 茶道について、基本のけいこを通して、露地庭空間を構成するために必要な所作とその取扱いを具体的に理解する。</p>	棗の扱い方 茶杓のふきかた 柄杓の扱い方 茶巾のたたみ方 茶筌すすぎ 仕覆の脱がせ方					<p>【知識・技能】 茶道、日本文化・露地庭について体系的・系統的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 茶道・日本文化に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 茶道・日本文化について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</p>
2	単元 5	18	中間・ 期末	<p>【単元名】 茶道・基本のけいこ③ 亭主の挨拶と心得</p> <p>【目標】 茶道について、基本のけいこを通して、露地庭空間を構成するために必要な所作とその取扱いを具体的に理解する。</p>	亭主の挨拶と心得					<p>【知識・技能】 茶道、日本文化・露地庭について体系的・系統的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 茶道・日本文化に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 茶道・日本文化について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</p>
3	単元 6	8	中間・ 期末	<p>【単元名】 茶道と露地庭 亭主の挨拶と心得</p> <p>【目標】 茶道について、基本のけいこを通して、露地庭空間を構成するために必要な所作とその取扱いを具体的に理解する。</p>	露地庭の意匠 茶道と露地庭との関係					<p>【知識・技能】 茶道、日本文化・露地庭について体系的・系統的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 茶道・日本文化に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を学習や生活に生かしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 茶道・日本文化について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。</p>

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日課程

教科	食品科学			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目	課題研究			3	105時間		
対象学年組	第3学年	3組、	組、	組、	組、	組	
使用教科書	食品製造・食品化学・微生物利用・食品成分表						
科目:「課題研究」の目標, 評価方法							
	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】		
目標	農業に関するプロジェクト学習、産業現場における実習、高大連携を通して、調査・研究・考察・まとめの方法を理解する。また、実習、実験を通して、知識と技術を身に付けることができる。		農業に関するプロジェクト学習を通して、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。また、実習、実験を通して、考えたアイデアを表現する力、他者の作品を鑑賞する力を養成する。		農業に関するプロジェクト学習、高大連携を通して、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。		
評価方法	定期テスト ノートおよびレポート 学習の振り返り		定期テスト ノートおよびレポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表) 学習の振り返り		観察(学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の発言) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り		
学期	通し番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容		評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 1	3	中間・ 期末	【単元名】 オリエンテーション 1年間の計画  【目標】 1年間の研究の進め方確認し各自の課題に沿って計画立案しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等		【知識・技能】 ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解している。 ・自身の研究内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
1	単元 2	30	中間・ 期末	【単元名】 研究準備・実施・評価 【目標】 各自の課題研究を通して自身の研究について理解する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等		【知識・技能】 ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解している。 ・自身の研究内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。
2	単元 3	45	中間・ 期末	【単元名】 研究準備・実施・評価 1学期研究まとめ 【目標】 各自の研究を通して課題について理解する。 1学期のまとめとして、中間報告書作成しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等		【知識・技能】 ・プロジェクト学習について理解している。 ・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解している。 ・1学期の研究内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学習を通して解決しようとしている。 自身の研究内容についてまとめようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協働的に課題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 4	15	中間・ 期末	<p>【単元名】 研究発表会準備・実施</p> <p>【目標】 自身の研究を通して発表会用パ ワーポイント作成しようとしてい る 他者の発表について考え理解し ようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活 用 等</p>					<p>【知識・技能】</p> <p>・プロジェクト学習について理解している。</p> <p>・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解して いる。</p> <p>・1年間の研究内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学 習を通して解決しようとしている。</p> <p>自身の研究内容についてPowerPointを活用し発表 資料を作成し、まとめようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協 働的に課題を解決しようとしている。</p> <p>発表に積極的に参加している。</p>
3	単元 5	12	中間・ 期末	<p>【単元名】 1年間のまとめ(研究総評・反省)</p> <p>【目標】 1年間の研究を通して自身の総 合的自己評価をしようとしてい る。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活 用 等</p>					<p>【知識・技能】</p> <p>・プロジェクト学習について理解している。</p> <p>・調べたことや聞いたことをまとめる方法を理解して いる。</p> <p>・1年間の研究内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・プロジェクト学習において、課題を発見し、調べ学 習を通して解決しようとしている。</p> <p>自身の研究内容についてまとめようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・プロジェクト学習の実習において、主体的かつ協 働的に課題を解決しようとしている。</p>

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		食品科学			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		総合実習			4	140時間		
対象学年組		第3学年 組、 組、 3組、 組、 組						
使用教科書								
科目:「総合実習」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		食品製造・実験の原理について理解しているとともに、諸資料から、実験を行うために必要となる情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。			食品製造・実験における自己の課題解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる原理や結果を活用して、多面的・多角的に考察し公正に判断したり、自身の考えを表現することができる。			食品製造・実験方法や原理の理解にむけて他者と協力し、結果を収集し、それをもとに考察を行い、自身の課題について主体的に追求し、解決しようとしている。
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート			定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り			ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元1	24	中間・期末	<p>【単元名】 シフォンケーキ製造① 味噌仕込み①</p> <p>【目標】 シフォンケーキの学習を通して食品の成分分析について理解する。 これまでに学習した味噌の製造方法を確認するとともに生産を通して商品として成り立つ品質について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実験</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>			<p>【知識・技能】 シフォンケーキ製造の方法を理解している。 味噌仕込みの製造方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 シフォンケーキ製造から卵白について考え、分析している。 味噌の品質向上における成分について考え、分析している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実験や実習等に進んで関わり、実験の実施、レポートの作成を行っている。 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・レポートの課題に答えている。</p>
1	単元2	24	中間・期末	<p>【単元名】 シフォンケーキ製造② 味噌仕込み② 窒素定量①</p> <p>【目標】 シフォンケーキの学習を通して食品の成分分析について理解する。 これまでに学習した味噌の製造方法を確認するとともに生産を通して商品として成り立つ品質について考える。 窒素定量実験の学習を通して食品の成分分析について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実験</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>			<p>【知識・技能】 シフォンケーキ製造の方法を理解している。 味噌仕込みの製造方法を理解している。 ケルダール装置の使用目的を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 シフォンケーキ製造から卵白について考え、分析している。 味噌の品質向上における成分について考え、分析している。 ケルダール装置から食品に含まれる窒素について考え、分析している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実験や実習等に進んで関わり、実験の実施、レポートの作成を行っている。 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・レポートの課題に答えている。</p>

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容	評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 3	24	中間・ 期末	<p>【単元名】 ロールケーキ製造 窒素定量② ウメジャムの大量生産</p> <p>【目標】 ロールケーキ製造の学習を通して、その概要や製造方法について理解する 窒素定量実験の学習を通して様々な食品の成分分析について理解する。 これまでに学習したジャムの製造方法を確認するとともに大量生産を通して商品として成り立つ品質について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実験</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ロールケーキの製造方法を理解している。 ケルダール装置の操作方法を理解している。 ウメジャムの製造方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 品質の良い製造品の製造方法について分析している。 タンパク質について分析している。 ゲル化の性質について考え、分析している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実験や実習等に進んで関わり、実験の実施、レポートの作成を行っている。 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・レポートの課題に答えている。</p>
2	単元 4	24	中間・ 期末	<p>【単元名】 ねりきり制作 リンゴジャムの大量製造 塩分定量</p> <p>【目標】 白餡の学習を通して、ねりきりの製造方法や概要について理解する。 リンゴの学習を通して、製造方法や大量生産について理解する。 食品中の塩分の学習を通して、塩分定量方法を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実験</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ねりきりの制作方法を理解している。 リンゴジャムの製造方法を理解している。 塩分定量の操作方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 品質の良い製造品の製造方法について分析している。 塩分定量について分析している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実験や実習等に進んで関わり、実験の実施、レポートの作成を行っている。 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・レポートの課題に答えている。</p>
2	単元 5	24	中間・ 期末	<p>【単元名】 リンゴジャム大量生産 クッキー大量生産</p> <p>【目標】 リンゴジャムの学習を通して、2学年の学習内容を確認し、大量生産における要点について理解する。 クッキーの学習を通して、1学年の学習内容を確認し大量生産における要点について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実験</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>	<p>【知識・技能】 リンゴジャムの製造方法を理解している。 クッキーの製造方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 品質の良い製造品の製造方法について分析している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実験や実習等に進んで関わり、実験の実施、レポートの作成を行っている。 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・レポートの課題に答えている。</p>
3	単元 6	20	中間・ 期末	<p>【単元名】 赤飯の製造 シュークリームの製造</p> <p>【目標】 赤飯の学習を通して、その製造方法について理解する。 シュークリームの学習を通して、その製造方法について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・実験</li> <li>・レポート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>	<p>【知識・技能】 赤飯の製造方法を理解している。 シュークリームの製造について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 品質の良い製造品の製造方法について分析している。 シュー生地 of の仕組みについて分析している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実験や実習等に進んで関わり、実験の実施、レポートの作成を行っている。 ・レポートを期日までに提出することができる。 ・レポートの課題に答えている。</p>

令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		農業			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		専攻:食品製造			2	70時間		
対象学年組		第3学年 3組、組、組、組、組						
使用教科書		教科書使用なし						
科目:「専攻:食品製造」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		食品衛生責任者資格取得 衛生的に製造するための知識 製造実習の技術向上			衛生的に実習を行うことへの判断 自分の考えを入れた食品製造の工程を 組み製造ができる 衛生実験等の結果観察からの考察がで きる			食品衛生柄責任者取得に向けて協働的に 課題を解決しようとする。
評価方法		定期テスト レポート ノート提出			定期テスト(論述問題など) レポート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り			学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の 発言など 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
1	単元 1	7	中間	【単元名】 食品衛生責任者とは  【目標】 食品衛生責任者の資格取得の ための知識を通して食品衛生責 任者とは何かについて理解す る。	指導事項 ・教材 参考資料 食 品衛生責任者教本 ノート 食品衛生責任者の職 務と義務			【知識・技能】 食品衛生責任者とは何か理解している。 【思考・判断・表現】 食品衛生責任者取得のための知識を蓄積してい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生責任者とは何かについて協働的に課題を 解決しようとしている。
1	単元 2	7	中間	【単元名】 飲食店の営業について 【目標】 食品衛生責任者の資格取得の ための知識を通して飲食店を営 業するための知識を得る。	指導事項 ・教材 参考資料 食 品衛生責任者教本 ノート 営業の許可の 取得方法 食品衛生 法 HACCPの義務化 について 表示基準 について			【知識・技能】 飲食店開業するためには何をすれば良いかを理解 している。 【思考・判断・表現】 飲食店開業のための知識を蓄積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 飲食店営業とは何かについて協働的に課題を解決 しようとしている。
1	単元 3	7	期末	【単元名】 食中毒、食品衛生について 【目標】 食品衛生責任者の資格取得の ための知識を通して食中毒や食 品衛生についての知識を得る	指導事項 ・教材 参考資料 食 品衛生責任者教本 ノート 食中毒につて食品衛 生的に学ぶ			【知識・技能】 食中毒、食品衛生について理解している。 【思考・判断・表現】 食中毒、食品衛生についての知識を蓄積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食中毒、食品衛生について協働的に課題を解決し ようとしている。
1	単元 4	7	期末	【単元名】 公衆衛生について 【目標】 食品衛生責任者の資格取得の ための知識を通して公衆衛生と は何かについて理解する。	指導事項 ・教材 参考資料 食 品衛生責任者教本 ノート 公衆衛生を食品衛生 責任者から出題され る問題と関連付けて 学ぶ			【知識・技能】 公衆衛生についてを理解している。 【思考・判断・表現】 公衆衛生についてについての知識を蓄積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公衆衛生についてについて協働的に課題を解決し ようとしている。
2	単元 5	10	期末	【単元名】 食品の腐敗・変敗と保存方法に ついて 【目標】 食品製造を通して、食品の保存 方法について理解する。	指導事項 ・教材 参考資料 ノート 飲食店経営をするた めの知識として食品 の保存方法を物理 的、化学的、生物的 に分けて実際問題と 関連付けて学ぶ			【知識・技能】 食品の腐敗・変敗と保存方法について理解してい る。 【思考・判断・表現】 食品の腐敗・変敗と保存方法についての知識を蓄 積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の腐敗・変敗と保存方法について協働的に課 題を解決しようとしている。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 6	10	期末	【単元名】 食品製造 【目標】 食品製造を積極的に実習し、技術 を向上しようとしている。	指導事項 ・教材 なし 粉加工 品を中心に1. 2年で 学んだ実習の応用実 習を行う					【知識・技能】 食品製造実習の内容についてを理解している。 【思考・判断・表現】 食品製造実習についての知識を蓄積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品製造実習の結果考察について協働的に課題を 解決しようとしている。
2	単元 7	10	期末	【単元名】 衛生実験 【目標】 食品衛生を通して食品加工につ いての実験を理解する。	指導事項 ・教材 なし 食品衛 生実験を中心に食品 製造に役立つ実験を 行う					【知識・技能】 食品衛生実験の内容についてを理解している。 【思考・判断・表現】 食品衛生実験についての知識を蓄積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品衛生実験の結果考察について協働的に課題を 解決しようとしている。
3	単元 8	6	期末	【単元名】 食品の腐敗・変敗と保存方法に ついて 【目標】 食品製造を通して、食品の保存 方法について理解する。	指導事項 ・教材 参考資料 ノート 飲食店経営をするた めの知識として食品 の保存方法を物理 的、化学的、生物的 に分けて実際問題と 関連付けて学ぶ					【知識・技能】 食品の腐敗・変敗と保存方法について理解してい る。 【思考・判断・表現】 食品の腐敗・変敗と保存方法についての知識を蓄 積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の腐敗・変敗と保存方法について協働的に課 題を解決しようとしている。
3	単元 9	6	期末	【単元名】 食品製造 【目標】 食品製造を積極的に実習し、技 術を向上しようとしている。	指導事項 ・教材 なし 粉加工 品を中心に1. 2年で 学んだ実習の応用実 習を行う					【知識・技能】 食品製造実習の内容についてを理解している。 【思考・判断・表現】 食品製造実習についての知識を蓄積している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品製造実習の結果考察について協働的に課題を 解決しようとしている。

## 令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		食品科学			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)			
科目		食品流通			2	70時間			
対象学年組		第3学年	組、	組、	3組、	組、	組		
使用教科書		食品流通(実教)							
科目:「食品流通」の目標、評価方法									
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】	
目標		食品流通について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。			食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。			食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート			定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況、討論・発表など) 学習の振り返り			ワークシート 観察(学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り	
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)	
1	単元1	9	中間・期末	【単元名】 ウェルネス上手になろう 【目標】 栄養素の役割やストレスと生活習慣が健康に与える影響を通して、栄養と健康に関する基礎知識を身につける。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト			【知識・技能】 各栄養素の役割と生活習慣が健康に与える影響を理解している。 【思考・判断・表現】 健康状態から適切な栄養素や休養を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。	
1	単元2	9	中間・期末	【単元名】 もてなし上手になろう 【目標】 郷土料理や行事食、食事のマナーを通して食文化と食習慣に関する基礎知識を身につける。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト			【知識・技能】 郷土料理や行事食、食事のマナーを理解している。 【思考・判断・表現】 行事の内容から適切な料理を選択することができる。また、場面にふさわしい食事のマナーを判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。	
1	単元3	10	中間・期末	【単元名】 買い物上手になろう 【目標】 食品表示の種類やアレルギー表示と栄養成分表示を通して食品学に関する基礎知識を身につける。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト			【知識・技能】 食品表示の種類やアレルギー表示と栄養成分表示の内容を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 食品表示やアレルギー表示、栄養成分表示などを正しく読み取り、相手に応じた食品を提示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。	
2	単元4	10	中間・期末	【単元名】 段取り上手になろう 【目標】 食中毒の種類と原因、予防法の説明を通して衛生管理に関する基礎知識を身につける。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト			【知識・技能】 食中毒の種類と原因や予防方法を理解している。 【思考・判断・表現】 食中毒防止の観点から、食品に応じた適切な衛生管理法を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。	

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 5	10	中間・ 期末	【単元名】 生き方上手になろう 【目標】 物流システムや小売システムなど食品流通の機能を通して食マーケットに関する基礎知識を身につける。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト					【知識・技能】 物流システムや小売システムを理解している。 【思考・判断・表現】 物流システムの変化について、その理由を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。
2	単元 6	10	中間・ 期末	【単元名】 やりくり上手になろう 【目標】 円高や円安による暮らしと経済への影響を通して社会生活に関する基礎知識を身につける。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト					【知識・技能】 社会生活に関する基礎知識を理解している。 【思考・判断・表現】 暮らしにかかわる契約内容を理解し妥当性を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。
3	単元 7	6	中間・ 期末	【単元名】 現代社会と食品流通 【目標】 食品流通の役割を理解し、現代社会において食品流通が生活に欠かせないものであることを理解する。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト					【知識・技能】 金融や保険、流通システムなど現代の流通を支える仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 フードデザートなど現代の食品流通に求められる問題に対し自分の考えを述べる事が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。
3	単元 8	6	中間・ 期末	【単元名】 食品マーケティング 【目標】 商品開発やパッケージデザインなどを通して、市場調査の重要性を学ぶ。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期テスト					【知識・技能】 市場調査や製品計画などマーケティング戦略の手法を理解している。 【思考・判断・表現】 市場調査を行い、その結果から製品計画を想定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に取り組み、積極的に知識を身につけようとしている。

## 令和7年度(3学年用)年間授業計画 都立農業高等学校全日制課程

教科		食品科学			単位数	年間授業時数(予定:単位数×35時間)		
科目		食品環境			2	70時間		
対象学年組		第3学年	3組、	組、	組、	組、	組	
使用教科書		食品化学						
科目:「食品環境」の目標, 評価方法								
		【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】
目標		食品の成分について化学的観点から理解する。 食品成分の成分分析を実験等を通して実施することができる。			食品成分の分析においてその原理について考えることができる。 実際の食品をもとに各成分について分析している。			分析実験において他者の意見を尊重しようとする。 食品成分の分析実験において他者と協働的に課題を解決しようとする。
評価方法		定期テスト 小テスト レポート ワークシート			定期テスト(論述問題など) 小テスト レポート ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表など) 学習の振り返り			ワークシート 観察(学習状況, 討論・発表、行動観察、授業中の発言など) 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り
学期	通し番号	配当時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容			評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)を中心に記述)
1	単元1	8	中間・期末	【単元名】 水分定量  【目標】 水分定量実験を通して、水分の測定方法について理解する。水分の特性を理解しようとしている。	・講義 ・授業プリント ・一人1台端末の活用等 ・実験 ・定期考査 ・振り返りシート ・レポート			【知識・技能】 水分の測定方法を理解している。 様々な測定方法について理解している。 水分の特徴について理解している。  【思考・判断・表現】 水分測定の方法の結果をもとに考えようとしている。 水分に関して分析している。  【主体的に学習に取り組む態度】 水分測定実験において他者と協働的に課題を解決しようとしている。 提出物を提出している。
1	単元2	10	中間・期末	【単元名】 粗脂肪定量  【目標】 粗脂肪定量実験を通して、粗脂肪の測定方法について理解する。粗脂肪の特性を理解しようとしている。	・講義 ・授業プリント ・一人1台端末の活用等 ・実験 ・定期考査 ・振り返りシート ・レポート			【知識・技能】 粗脂肪の測定方法を理解している。 粗脂肪の特徴について理解している。  【思考・判断・表現】 粗脂肪測定の方法の結果をもとに考えようとしている。 粗脂肪に関して分析している。  【主体的に学習に取り組む態度】 粗脂肪測定実験において他者と協働的に課題を解決しようとしている。 提出物を提出している。
1	単元3	10	中間・期末	【単元名】 灰分の定量  【目標】 灰分の定量実験を通して、灰分の測定方法について理解する。灰分の特性を理解しようとしている。	・講義 ・授業プリント ・一人1台端末の活用等 ・実験 ・定期考査 ・振り返りシート ・レポート			【知識・技能】 灰分の測定方法を理解している。 灰分の特徴について理解している。 電気炉の使用方法について理解している。  【思考・判断・表現】 灰分測定の方法の結果をもとに考えようとしている。 灰分に関して分析している。  【主体的に学習に取り組む態度】 灰分測定実験において他者と協働的に課題を解決しようとしている。 提出物を提出している。

学期	通し 番号	配当 時数	定期 考査 範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 (おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述)
2	単元 4	8	中間・ 期末	【単元名】 粗タンパク質の定量 【目標】 粗タンパク質の定量実験を通して、粗タンパク質の測定方法について理解する。 粗タンパク質の特性を理解しようとしている。	・講義 ・授業プリント ・一人1台端末の活用等 ・実験 ・定期考査 ・振り返りシート ・レポート					【知識・技能】 粗タンパク質の測定方法を理解している。 タンパク質の特徴について理解している。 ケルダール装置の使用方法について理解している。 【思考・判断・表現】 粗タンパク質測定の方法の結果をもとに考えようとしている。 粗タンパク質に関して分析している。  【主体的に学習に取り組む態度】 粗タンパク質測定実験において他者と協働的に課題を解決しようとしている。 提出物を提出している。
2	単元 5	10	中間・ 期末	【単元名】 牛乳検査 【目標】 牛乳検査を通して、牛乳の品質やその性質について理解する。しようとしている。 衛生分野の視点から牛乳の状態について考える。	・講義 ・授業プリント ・一人1台端末の活用等 ・実験 ・定期考査 ・振り返りシート ・レポート					【知識・技能】 牛乳の検査方法を理解している。 牛乳の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 検査の結果をもとに牛乳の状態について衛生的観点から考えようとしている。  【主体的に学習に取り組む態度】 牛乳検査において他者と協働的に課題を解決しようとしている。 提出物を提出している。
2	単元 6	12	中間・ 期末	【単元名】 燐の定量 【目標】 燐の定量実験を通して、燐の性質やその測定方法について理解する。	・講義 ・授業プリント ・一人1台端末の活用等 ・実験 ・定期考査 ・振り返りシート ・レポート					【知識・技能】 燐の測定方法を理解している。 燐の特徴について理解している。 分光光度計の使用方法について理解している。 【思考・判断・表現】 燐の測定の方法の結果をもとに考えようとしている。 結果から検量線を書き分析している。  【主体的に学習に取り組む態度】 燐の定量実験において他者と協働的に課題を解決しようとしている。 提出物を提出している。
3	単元 7	12	中間・ 期末	【単元名】 鉄の定量 【目標】 鉄の定量実験を通して、鉄の性質やその測定方法について理解する。	・講義 ・授業プリント ・一人1台端末の活用等 ・実験 ・定期考査 ・振り返りシート ・レポート					【知識・技能】 鉄の測定方法を理解している。 鉄の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 鉄の方法の結果をもとに考えようとしている。 鉄に関して分析している。  【主体的に学習に取り組む態度】 鉄の測定実験において他者と協働的に課題を解決しようとしている。 提出物を提出している。